

はじめに

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の基本的事項 (1)性格 (2)計画期間 (3)本計画における「教育」の範囲

第1章 滋賀の教育をめぐる状況

1 社会情勢の変化

- (1) 少子高齢社会、人口減少社会
- (2) 国際化や情報化の進展に伴うグローバル社会の到来
- (3) 雇用環境
- (4) 東日本大震災
- (5) 家庭・地域
- (6) 格差の再生産・固定化

2 第1期計画の成果と課題

- (1) 子どもたちの「生きる力」を育む
- (2) 社会全体で子どもの育ちを支える
- (3) 学びあい、支えあう生涯学習社会をつくる
- (4) 第1期計画の総括

第2章 滋賀の教育が目指す姿

1 目指す社会の姿～「滋賀県基本構想」より～

基本理念「未来を拓く共生社会へ～人とともに 琵琶湖とともに～」
 【2030年頃を展望し、滋賀の将来の姿を描く】

- 健康「いくつになっても活動的でいられ、幸せな最期を迎えられる社会」
- 働く「仕事と家庭や地域生活を両立できる社会」
- 住む「歩いて暮らせる安全・安心で環境と共生する社会」
- 学ぶ・育てる「人間性や生きる力を育む社会」
- 楽しむ「伝統・文化や自然、地域に親しめる社会」
- つながる「交流を深め、支え合う、つながりのある社会」

2 目指す人間像

(2030年頃を見通した目指す人間像)

テーマ1

(第1期計画における目指す人間像)
 『『近江(淡海)の心』を受け継いで、自らに誇りを持ち、変革の時代にあってもたくましく
 人生を切り拓く力を備えながら、国際社会の一員として活躍できる人』

2030年頃の教育をとりまく社会の状況の展望

- 少子高齢化の一層の進行
- さらなるグローバル化の進展
- 生涯現役時代・男女共同参画社会
- 社会活力の低下、地域における家庭の孤立
- 国際競争が一層激化
- 雇用形態の多様化、非正規雇用の拡大



3 第2期計画における教育の基本目標

第2期計画の基本目標

テーマ2

(第1期計画の基本目標)「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり～みんなで支えあい自らを高める教育の推進～」

4 教育行政の施策の柱

柱Ⅰ 子どもたちのたくましく生きる力を育む

柱Ⅱ 子どもの育ちを支えみんなが共に育つ環境をつくる

柱Ⅲ 人と人、人と社会がつながる生涯学習社会を形成する

第3章 今後5年間に実施する施策と重点取組

テーマ3

I 子どもたちのたくましく生きる力を育む

- 1 「確かな学力」を育む
- 2 「豊かな心」を育む
- 3 「健やかな体」を育む
- 4 「自然や地域と共生する力」を育む
- 5 特別なニーズに対応した教育の推進
- 6 多様な進路・就労の実現に向けた教育の推進

II 子どもの育ちを支えみんなが共に育つ環境をつくる

- 1 魅力と信頼ある学校をつくる
- 2 教職員の教育力を高める
- 3 つながりを生かした子育て環境支援
- 4 社会全体で子どもを育てる気運を高める

III 人と人、人と社会がつながる生涯学習社会を形成する

- 1 社会的課題等に対応した学習の推進
- 2 健康づくりと生涯スポーツの振興
- 3 魅力ある文化の振興、歴史文化に親しむ機会の充実
- 4 生涯学習にアクセスしやすい環境づくり
- 5 学びを社会に生かす仕組みづくり

第4章 計画の推進のための方策

1 ライフステージごとの重点取組



2 施策の点検評価・進行管理・計画の見直し